

「尿中 8-OHdG 濃度と生活習慣病発症リスクの研究」に対するご協力をお願い

研究責任者 獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 助教 長尾 匡則

このたび、酸化ストレスと生活習慣病発症との関連を明らかにするため、下記の研究を実施いたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる住民の皆様への新たな負担は一切ありません。また住民の皆様のプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない方は、研究責任者までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的および意義

日本人の二人に一人は生活習慣病で亡くなっています。酸化ストレスは生活習慣病の原因となる動脈硬化や糖尿病を引き起こし、それによって脳卒中や心臓病を引き起こすと考えられていますが、まだ確かな証拠は得られていません。そこでこの研究では酸化ストレスが高い人は、本当に脳卒中や心臓病になりやすいのかを検証することを目的としています。

2. 研究の方法

(1) 研究対象者

茨城県筑西市協和地区および秋田県井川町の住民健診において 1996 年から 2006 年にかけて、24 時間蓄尿検査を実施された方。

(2) 研究実施期間

平成 25 年 5 月倫理委員会承認後 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

(3) 使用する試料および情報

上記 24 時間蓄尿検査において採取・保存されている尿検体と、健診のデータ、脳卒中や心臓病の発症の情報を使用致します。

(4) 研究方法

研究代表者が上記研究対象者の方の尿検体中の酸化ストレスマーカーである 8-OHdG の濃度を測定し、健診データや脳卒中・心臓病の発症データとあわせて、尿中に排泄される 8-OHdG と脳卒中・心臓病発症との関連について調べます。

(5) 研究成果の取り扱い

この研究の成果はプライバシー保護には細心の注意を払った上で、学会や論文として発表する予定です。その場合にも集団の値として公表しますので、個人の数値がそのまま公表されることはありません。

3. 試料・情報の提供について

本研究では試料および情報を CIRCS 研究（※）事務局より提供を受けて行います。
このデータは個人情報情報を削除され、個人が特定できないようにされています。

※CIRCS 研究：秋田県井川町、大阪府八尾市南高安地区、茨城県筑西市協和地区、高知県香南市野市町の住民の方を対象とした循環器疾患の疫学研究です。

CIRCS 研究ウェブサイト <http://www.osaka-ganjun.jp/effort/cvd/r-and-d/circs/#sec01>

4. 試料・情報提供者

大阪がん循環器病予防センター 循環器病予防部門（CIRCS 研究事務局） 木山 昌彦

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて対象となる亡くなられた方のご家族、代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者の方やそのご家族、代理人の方に不利益が生じることはありません。

獨協医科大学公衆衛生学講座

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

研究責任者：長尾 匡則

TEL: 0282-87-2133 （平日：9 時～17 時）

FAX: 0282-86-2935

nagao@dokkyomed.ac.jp